

主要事業の令和3年度の概要・令和2年度の進捗状況

基本方策1 確かな学力と自立を育む教育の充実

知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育み、将来の社会を担う人材を育成するためには、子どもの学習意欲を向上させるとともに、基礎的な学力や自ら学び考える力を伸ばしていくことが求められています。新学習指導要領では、「生きる力」をより具体化し、教育課程全体を通して育成する資質・能力を「知識及び技能の習得」「思考力、判断力、表現力等の育成」「学びに向かう力、人間性等の涵養」の三つの柱に整理されました。

また、新型コロナウイルス感染症等の危機事象が起こった際にも、子どもたちを誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びを実現していくことが必要です。

学校教育においては、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、求められる資質・能力が偏ることなく実現できるように「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進し、子どもたちの確かな学力と自立を育みます。

また、9年間を見通した教育課程の編成、小・中学校の円滑な接続、幼保こ小等の円滑な接続^①を踏まえ、教職員の指導力や学校力の向上を図ります^②。

小学校において本市独自の少人数学級編制を実施し、よりきめ細かな指導を実践します^③。また、超スマート社会（Society 5.0）に対応するため、プログラミング教育の推進や情報活用能力の育成の視点も踏まえながら、令和2年6月に策定した「枚方市学校教育におけるICT活用の方針」や、国のGIGAスクール構想に基づき、一人一台のタブレット端末等のICTを活用した協働型・双方向型の授業及び個別最適化された学びを推進します^④。

諸外国の文化や習慣等について理解を深める国際理解教育を推進し^⑤、市内大学とも連携しながら、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力を育成します^⑥。また、学校図書館の活用による言語能力の育成^⑦や、職業体験や社会見学、社会人による特別授業等により、社会と関わる機会を多く作るなど、キャリア教育を推進します^⑧。

さらに、新たな感染症等の危機事象による学校の臨時休業などにも対応できるよう、オンライン授業の実施等のICTを適切に活用した学習活動の充実を図る^④など、子どもたちの「自立」「協働」「創造」する力を育む新しい教育に向けた取組を進めます^{①⑨}。

主要事業の概要・実績

1-①	小中一貫教育推進事業	担当課	学校教育室 (教職員担当) (教育指導担当)	事業費計 予算額 (千円)	37,316 16,061
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
<p>○学力向上の取組</p> <p>◆全中学校区にコーディネーターを配置し、学力向上委員会や教科会、学年会等の充実を図り、組織的な取組を推進するとともに、学力向上・授業づくりに高い見識を有する学識経験者を招聘し、教員の授業力向上を図る。</p> <p>◆教科会・学年会における授業研究の推進を図るとともに、児童・生徒一人ひとりの課題を踏まえ、宿題や自学自習ノート等、家庭における学習習慣の充実に努める。</p> <p>○体力向上の取組</p> <p>◆各小中学校で、今まで行ってきた体力テストの結果を基に、現状の児童・生徒に合わせた体力向上推進計画を作成・実践する。大阪体育大学と連携して、授業改善をはじめ児童・生徒の体力向上に向けた取組を推進する。</p>		<p>○学力向上の取組</p> <p>◆全中学校区に学力に特化したコーディネーターを配置し、学力向上委員会や教科会、学年会などの校内組織の充実を図るとともに、学識経験者による講義や指導・助言を受けながら、授業改善や少人数指導など学力向上に向けた取組を推進した。</p> <p>◆授業改善や家庭学習等の充実に向けて、各校の情報教育推進担当を中心に、ICT機器の活用を図った。</p> <p>○体力向上の取組</p> <p>◆各小中学校で、児童・生徒の実態に応じた体力向上推進計画を作成し、実践した。また研究指定校において、大阪体育大学と連携し、体力向上に向けた取組を行った。</p>			
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	平成28年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成30年度当初実行計画			
	関連計画	—			

1-②	学校園活性化事業	担当課	学校教育室 (教育指導担当) 公立保育幼稚園課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	43,074
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
<p>◆全学校園を学校園活性化推進校園として指定し、教育課題の解決や教職員の資質向上を図るため、校(園)内研修の充実を進めるとともに、年1回以上教職員対象の公開授業を実施し、授業改善等に活用する。また、菊咲かそう体験事業や、小学生陸上競技大会、小学生駅伝競走大会、小学生合同音楽会等の教育委員会が主体となる事業を実施する。</p>		<p>◆全64校において設定した研究主題に沿って、校内研修等に取り組んだ。</p> <p>公開授業は、新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら小・中学校55校で実施し、うち中学校9校については校内研究授業を実施した。</p> <p>菊咲かそう体験事業は6月1日から実施した。小学生陸上競技大会、小学生駅伝競走大会、小学校合同音楽会は、新型コロナウイルス感染予防の観点から中止とした。</p> <p>◆全7幼稚園において設定した研究主題に沿って、園内研修等に取り組んだ。また公開保育については、新型コロナウイルス感染予防対策のため、参加者を各市立幼稚園から1名のみにして実施した。</p> <p>◆外部講師を招聘した校内研修を158回、園内研修を36回実施した。</p>			
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	—			

1-③	枚方市少人数学級充実事業	担当課	学校教育室 (教職員担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	411,658
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆府内の公立小学校では、小学校第1学年及び第2学年で、1学級35人以下の少人数学級編制が実施されているが、本市では、小学校における少人数学級編制を充実させ、子どもたち一人ひとりに対し、きめ細かな指導を行うことで、児童への教育効果を高めるため、支援学級在籍児童を含んで1学級35人以下とする市独自の少人数学級編制を第4学年まで実施する。また、第5・第6学年については、支援学級在籍児童を含む40人学級編制を実施する。 ◆学級数が増える学校に対して市費負担期付教員を採用し配置する。		◆本市独自の支援学級在籍児童を含めた少人数学級編制として、小学校第1学年から小学校第4学年までは35人、第5・第6学年については40人で実施とするため、市費負担期付教員の採用・配置に取り組んだ。			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	平成30年度市政運営方針			
	実行計画	平成30年度当初実行計画			
	関連計画	—			

1-④	学校ICT機器等整備業務	担当課	学校教育室 (教育研修担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	785,668
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆全小・中学校の授業用コンピュータ機器等の維持・管理を行う。 ◆全児童・生徒及び教職員へのタブレット型パソコンの配備に向けた取組を進める。 ◆授業支援ソフトウェア、MDMなどの整備、大型提示装置の周辺機器等を整備する。		◆令和2年8月に、小学校15校のコンピュータ教室のタブレット型コンピュータを更新した。 ◆令和2年9月から、中学校3年生を皮切りに「1人1台」のタブレット端末を導入し、令和3年2月に全児童生徒への導入を完了した。同時に、校内LAN環境を年度内に整備し、大型提示装置など周辺機器を導入した。 ◆「1人1台」端末の導入に伴って、教育用アプリケーションのアカウントを配布し、ICT活用に係るルールを作成した。 ◆ICTサポート支援員により教員のサポートを行った。			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	平成29・30年度・令和2年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成29年度当初実行計画			
	関連計画	—			

1-⑤	多文化共生教育研究事業	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	216
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆学校園における在日外国人教育・国際理解教育の推進を図るため、枚方市多文化共生教育研究会において研究事業に取り組む。		◆学校園における在日外国人教育・国際理解教育において、講演会・学習会等、様々な研究を行った。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、例年実施している研究委員会やサマースクール等は開催せず、研究推進活動を実施した（機関紙・集録の発行）。			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	—			

1-⑥	英語教育推進事業	担当課	学校教育室 (教育指導担当) (教職員担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	176,606 33,537
概要			令和3年3月31日時点の進捗状況		
<p>◆全中学校に外国人英語教育指導助手（NET）、全小学校に日本人英語教育指導助手（JTE）を配置し、英語を使った体験的な学習の充実を図る。また、小学校に英語専科教員を配置するとともに、小学校で指導する外国人英語教育指導助手（NET-E）を新たに配置し、小学校外国語活動の指導体制の強化を図る。</p> <p>◆英語の4技能（「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」）をバランスよく育成するため、全市立中学校第2学年の全生徒を対象に4技能に対応した外部検定試験を実施し、その結果分析をもとに授業改善、個に応じた指導及び生徒の学習意欲の向上に活用する。</p> <p>◆関西外国語大学と連携し、留学生との交流等英語を使った体験的な活動の充実を図り、より実践的な英語力を育むため「枚方英語村」を実施する。</p>			<p>◆全中学校にNET、全小学校にJTEを配置し、英語を使った体験的な学習を実施した。また、小学校市費負担英語専科教員と府の加配を活用し、Native Speakerで小学校特別免許を所有する教員を含む専科教員を配置し、小学校外国語教育の指導体制の充実を図った。</p> <p>小学校での外国語の授業においては、校区中学校のNETの派遣やタブレット端末を活用したNETによる遠隔授業を実施した。NET-Eについては、令和3年4月1日からの配置に向けて2名採用した。</p> <p>◆英語外部検定試験は令和3年1月に実施し、結果分析をもとに授業改善、個に応じた指導に活用をした。</p> <p>◆枚方英語村の開催については、新型コロナウイルス感染予防の観点から中止とした。</p>		
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	平成30年度・令和2・3年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成30年度当初実行計画			
	関連計画	—			

1-⑦	読書活動推進事業	担当課	学校教育室 (教育指導担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	60,702
概要			令和3年3月31日時点の進捗状況		
<p>◆児童・生徒の言語能力を育むため、全中学校区に配置した学校司書と司書教諭が連携して、義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図る。</p> <p>◆市立図書館と連携した学校図書館の環境整備、児童・生徒の読書習慣の確立、調べ学習等授業における学校図書館の活用を推進する。</p>			<p>◆義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図るため、全小中学校で学校図書館の運営方針及び年間計画を作成し、取組を進めた。</p> <p>◆児童・生徒の読書習慣の確立に向けて、朝読（小41校、中17校）や読み聞かせ（小34校、中1校）、ビブリオバトル（小1校、中10校）等の読書活動を実施した。授業において学校図書館を活用している小学校は44校、中学校は17校であった。</p>		
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	平成28・29・30年度・令和3年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成26年度当初実行計画			
	関連計画	—			

1-⑧	進路指導等事務	担当課 教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	2,708
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況		
<ul style="list-style-type: none"> ◆進学意欲を有しながら、経済的な理由により就学が困難な支援を要する生徒や保護者等に対して、進路選択支援事業を特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託し、奨学金等に関する相談や情報提供を実施する。 ◆直接働く人と接する職場体験学習などを通して、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意思、意欲などを培うキャリア教育を系統的に実施する。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆委託している特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会が奨学金等に関する相談や情報提供を行っていることを各中学校に周知案内した。例年実施している説明会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催していない。 ◆職場体験学習については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年度は実施していない。 ◆令和2年度に、児童・生徒が自らの活動を記録し、蓄積できる教材である「キャリア・パスポート」を導入した。 		
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		
	市長公約	—		
	実行計画	—		
	関連計画	—		

1-⑨	学力向上推進事業（放課後自習教室事業）	担当課 学校教育室 (教育指導担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	58,527
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況		
<ul style="list-style-type: none"> ◆児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、新学習指導要領で求められている資質・能力の育成を図るため、授業・課業時間外・家庭学習で学習ができる環境を整備し、学力向上の取組を推進する。また、放課後自習教室の開室方法及び児童・生徒の学習補助をする「やる気リーダー」の配置を見直し、民間のノウハウを生かした学習教室を実施し、児童・生徒の学習支援を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆児童・生徒一人ひとりの理解度に応じて学習ができる学習コンテンツを活用しながら、授業・課業時間外・家庭学習における学習機会の充実を図った。 ◆8月に中学3年生を対象にした夏季集中学習教室を開催し、9月から全小学校では放課後自習教室、中学校では学習教室ひらスタを開室し、参加児童・生徒の学習意欲の向上や基礎学力の定着などの学習支援を図った。 		
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		
	市長公約	平成28年度市政運営方針		
	実行計画	平成28年度当初実行計画		
	関連計画	—		

基本方策2 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

近年、子どものコミュニケーション能力や社会適応能力、体力・運動能力の低下が課題となっており、子どもの豊かな人間性や社会性、健やかな体が育まれる環境づくりが求められています。

自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てます。一人ひとりの個性や価値観、多様化する人権課題を身近に感じ、考える機会をつくることで、すべての人の人権を尊重し、自他の生命を大切にすることを養います^①。また、多様な文化を認め合い、人類普遍の理念である平和の持つ意義を学ぶとともに、国際社会に貢献する資質や態度を身につけられる教育を進めます。

外国籍であったり、長く外国で居住していたなどの理由で、日本と異なる言語・文化・習慣で育った子ども等に対し、日本語習得のための機会の提供や相談支援などを進めることで、多文化共生の推進に取り組みます^{②③}。

小・中学校期は健全な身体の育成に重要な時期であることから、大学との連携による効果的な体育科の授業実践や民間活力を活用した水泳指導などに取り組むとともに、中学校部活動については、引き続き専門的なスキルを持つ外部人材を活用し、充実していきます^{④⑤⑥⑦}。

また、生活習慣の未確立やアレルギー疾患の増加等、子どもの健康に関する課題が多様化していることを踏まえ、健全な食生活の形成のための食育の推進^{⑧⑨}や、食物アレルギーへの対応など、安全で安心な学校給食を提供し^⑩、健やかな体が育まれる環境づくりを推進します^{⑪⑫}。中学校給食では、これまでの検証や課題整理を引き続き行いながら、全員給食の実施に向けた検討を進めます^⑬。

さらに、豊かな心と社会性を養うため、文化・芸術に親しむ機会^⑭や、自然を生かした野外活動などの体験活動を拡充します^⑮。

主要事業の概要・実績

2-①	人権教育推進研究事業	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	1,417
概 要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆学校園が教育活動において人権教育を適切に位置づけ、校園長を中心とした組織的な指導に努め、人権教育をすすめるため、枚方市人権教育研究協議会において研究事業に取り組む。		◆学校園における人権教育について、講演会や実践報告会、研究大会等、様々な研究を通して推進を図った。 ・北河内地区人権教育研究学習会及び研究大会（例年は年5回開催）…3回実施。 ・大阪府人権教育研究協議会集団づくりフォーラム…中止。 ・大阪府人権教育夏季研究大会…書面開催。 ・枚方市人権教育研究協議会講演会…11月実施。 ・大阪府人権教育研究塚・泉北大会…書面開催。 ・実践報告会（例年は年2回開催）…中止。 ・全国人権・同和教育研究大会（例年は年1回開催）…令和3年度に延期。 ・大阪府人権教育・人権・部落問題学習研究集会…書面開催。 ◆令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止あるいは書面開催の大会が多かった。			
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	—			

2-②	多文化共生教育研究事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)
-----	--------------------------	-----	---------------------

2-③	帰国児童等に対する教育指導員派遣事業	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	7,680
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆日本語の理解が困難な帰国児童等に対して、日本語及び教科の学習の支援、学校生活における相談等を行う教育指導員を派遣し、当該児童等の孤立感の解消や学校生活への適応の促進に努めることにより、当該児童等に対する教育の充実を図る。		◆日本語指導の必要な帰国・渡日外国人児童・生徒を対象に教育指導員を週1回2時間、もしくは週2回4時間派遣した。 ◆対象言語 中国語、タガログ語、ポルトガル語、モンゴル語、ベトナム語、ウルドゥー語、広東語、ドイツ語、スペイン語の9言語。 ◆令和3年3月31日現在の対象児童・生徒は25人。			
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	—			

2-④	小中一貫教育推進事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	学校教育室 (教育指導担当)
-----	-------------------------	-----	-------------------

令和3年度新規

2-⑤	学校水泳授業民間活用事業	担当課	新しい学校推進室 学校教育室 (教育指導担当) 施設整備室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	1,500
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆児童の泳力向上、水泳授業における教員への支援と指導の充実及び老朽化する学校プールの維持管理、改修費用の縮減を目的に、民間施設を活用して、学校水泳授業を実施する。 ◆令和3年度は、モデルとして山田小学校において、水泳授業を民間事業者へ委託する。(授業は、事業者が配置する専門スタッフと教員が共同で行う予定。) ◆令和3年7月までに山田小学校でのモデル事業を終え、効果検証を行った上で、次年度以降については、民間施設の活用、公設民営施設の新設、屋外プールの改修等、今後の学校プールのあり方について検討する。		◆他市の先行事例の検証及び課題整理を行うとともに、民間事業者(10社)にヒアリング調査を実施した。 ◆学校プールの維持管理費と水泳授業の委託料をそれぞれ試算し、水泳授業を委託した場合の効果額を検証した。 ◆小学校数校にヒアリング調査を実施し、学校現場の本事業に対するニーズを確認した。			
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	令和2・3年度市政運営方針			
	実行計画	令和3年度当初実行計画			
	関連計画	—			

2-⑥	部活動指導協力者派遣事業	担当課	学校教育室 (教育指導担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	13,679
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣する。		◆4月・5月は新型コロナウイルス感染症の影響により休校していたが、学校再開の6月から専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣し、部活動の充実と顧問教員の時間的余裕の確保を図った。 派遣中学校数：19校 部活動指導協力者：113人			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	平成28・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

2-⑦	学校支援社会人等指導者活用事業	担当課	学校教育室 (教育指導担当) 公立保育幼稚園課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	3,921
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆各教科の指導補助、総合的な学習の時間、特別活動など優れた知識や技能を有する多様な人材を学校教育に活用することで学校での教育活動の活性化を図る。		◆小中学校においては、学校再開の6月から、各教科における学習支援（総合的な学習の時間や外国語等）や読み聞かせ、菊の栽培、放課後学習の支援を実施し、教育活動の活性化を図った。 学校支援社会人等指導者登録者数：272人 ◆幼稚園においては、学校支援社会人等指導者により、サッカー指導や英語に触れる活動、お話会やわらべ歌遊びの会などを実施した。			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	—			

2-⑧	学校給食事業	担当課	おいしい給食課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	785,494
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆全小学校の児童を対象に、2箇所センター方式の共同調理場、4箇所の親子方式共同調理場及び24箇所の単独調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を直営または委託で実施するとともに、米飯の炊飯や検便等の業務について業務委託により実施する。 ◆全中学校の生徒を対象に、第一学校給食共同調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を委託で実施するとともに、米飯の炊飯や検便、施設の機械警備等の業務について業務委託により実施する。 ◆中学校給食は、平成28年度から選択制ランチボックス方式により希望する生徒への提供を行っている。		◆令和2年度当初は、新型コロナウイルス感染症対策による学校臨時休業や分散登校を行っていたため、令和2年6月15日から給食の提供を開始した。 ◆給食提供にあたっては、児童・生徒の身体の健全な発達に資するため、共同調理場及び単独調理場で調理した、安全で栄養バランスのとれた美味しい学校給食を調理し、児童・生徒へ提供した。			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	—			

2-⑨	学校給食における地元農産物利用促進事業	担当課	おいしい給食課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	—
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆安全・安心でおいしい学校給食の提供のため、小学校給食用食材として大阪府内産を含めた地元農作物の利用促進を図り、第3次枚方市食育推進計画の目標である「米・野菜類全体購入量に対する枚方産及び府内産購入量の割合を(重量ベース)38%」の達成に向け、取組を進める。		◆野菜類については、枚方産・府内産合わせて23品目で32.0トン、うち枚方産は18品目20.8トン(玉ねぎ、じゃがいも、かぼちゃ、なす、冬瓜、さつまいも、小松菜、チンゲン菜、ほうれん草、里芋、大根、白菜、キャベツ、人参、れんこん、金時人参、青葱、黒米)を使用した。また、米については、北河内産米を含む大阪産「ヒノヒカリ」「にこまる」を175.1トンを使用した。以上の結果、令和2年4月～令和3年3月の枚方産及び府内産購入量の割合は33.3%であった。 (新型コロナウイルス感染症対策・学校臨時休業、分散登校により、令和2年6月15日より給食開始)			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	第3次枚方市食育推進計画			

2-⑩	食物アレルギー対応推進事業	担当課	おいしい給食課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	—
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆食物アレルギー対応の適切かつ確かな取組を進める。 ◆学校給食における食物アレルギー対応上の事故(救急搬送)件数(新規発症を除く)が0件となるよう、より一層の安全を確保する。 ◆中学校給食において、7大アレルゲンを使用しない代替食の提供を毎日行う。		◆学校給食においては、「学校園におけるアレルギー疾患対応の手引き」に基づき食物アレルギー対応を実施した。 ◆中学校給食において、毎日7大アレルゲンを使用しない給食の提供を行った。小学校給食においては、「学校園におけるアレルギー疾患対応の手引き」、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づいた市内統一の対応を実施した。 ◆ヒヤリハット・事故報告の蓄積を行い、教育委員会内での情報共有を行った。			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

2-⑪	学校健康管理事業	担当課	教育支援室 (学校支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	6,582
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆学校園医(内科医、眼科医、耳鼻科医)、学校園歯科医、学校薬剤師、結核検診医、心臓検診医、腎臓検診医、歯科衛生士による小学校45校、中学校19校での内科、眼科、耳鼻科、歯科健康診断などの健康診断、健康相談、臨時健康相談、感染流行時の指導、学校環境衛生の維持管理及びブラッシング指導を実施する。		◆小中学校を対象に、内科・歯科・眼科検診を、小学校第1・3学年及び中学校第1学年を対象に耳鼻科検診を学校園医、学校園歯科医で行った。学校薬剤師による空気、飲料水、プール水質(中学校部活動校のみ)、照度の検査等を行った。 ◆また、歯科衛生士によるブラッシング指導を各小学校で学年を決めて37校で行った。 ◆健康相談は、専門的な観点、立場から学校及び児童・生徒の支援を行った。			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

2-⑫	健康診断事業	担当課	教育支援室 (学校支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	30,275
概要			令和3年3月31日時点の進捗状況		
◆全学校園において学校保健安全法に基づく健康診断を実施する。			◆結核検診(全児童・生徒)、尿検査(全児童・生徒)、心臓検診(小学校第1学年・中学校第1学年)及び眼科検診(全児童・生徒)を行った。 ◆脊柱側弯(モアレ)検診を12月～1月に実施した。 健康診断総受診者数：30,431人 健康診断総対象者数：30,822人		
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

2-⑬	中学校給食充実事業	担当課	おいしい給食課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	4,535
概要			令和3年3月31日時点の進捗状況		
◆選択制の中学校給食について、喫食率向上に向けた取組を進める中で、生徒・保護者の意向も踏まえ、全員給食への拡充を目指す。			◆新型コロナウイルス感染症の再度の感染拡大による臨時休業や分散登校も見据え、臨時的な給食の提供ができるよう、また、非常時の保護者負担の軽減を図ることができるよう、民間調理場の活用も含めた供給体制の検証を行った。 ◆選択制での中学校給食の喫食率については、中学校やPTAと連携した取組等を進め、目標喫食率確保に努め、喫食率は平成28年度25.7%から令和3年3月で33.7%に向上した。 ◆全員給食については、これまでの検証や課題整理を引き続き行いながら、スケジュール及び財源確保について再検討し、実施に向けた検討を進めた。		
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	平成29・30年度・令和2・3年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

2-⑭	文化財啓発普及事業	担当課	文化財課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	1,118
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ◆文化財説明板の新たな設置や古くなった説明板の建替 ◆文化財防火デー（市と枚方寝屋川消防組合が、文化財を所蔵する社寺等で消防訓練を実施） ◆歴史講座、歴史ウォーク（市内文化財めぐり等） ◆枚方・百済フェスティバル（古代の枚方と朝鮮半島の交流の歴史を伝えるイベント） ◆文化財の展示（輝きプラザきらら2階展示ルーム等で、発掘調査の出土遺物等を展示） ◆発掘調査現地説明会 ◆刊行物（文化財関係図書等）の発行など ◆出前講座 		<ul style="list-style-type: none"> ◆文化財説明板の新設5か所、修繕6か所。 ◆文化財防火デーの市民参加での消防訓練は、緊急事態宣言が発令されたため中止した。 ◆歴史講座は「幕末の蘭方医 緒方洪庵の感染症対策」（10月）や「枚方市内の中・近世石造物の石材と産地」（12月）をテーマに実施した。 また、親子を対象とした市民歴史講座「ひらかた歴史探検隊-枚方宿を歩こう-」を11月に開催、歴史ウォーク「歩いてみよう楠葉」、考古学講座「遺物にふれてみよう」は3月に開催した。 ◆枚方・百済フェスティバル・ジュニア文化財学級・市民歴史講座（2件）は新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。 ◆再整備事業の状況を写真パネルで紹介する文化財展示会「特別史跡百済寺跡発掘調査パネル展」（6月24日～7月26日）を開催し、現在、市内の発掘調査成果をもとに紹介する「発掘でわかった！枚方のむかしむかし」を輝きプラザきらら展示ルームで開催（8月5日～2月28日）。 ◆文化財だより4月・7月・10月・1月に発行。「文化財パンフレット百済寺跡禁野本町遺跡パネルシリーズ」を3月に発行。 			
関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	—			

2-⑮	野外活動センター利用促進事業	担当課	スポーツ振興課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	3,750
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ◆野外活動センターの利用増を目指し、学校キャンプ（日帰り・宿泊）を実施しやすくするため、企画段階からサポートを行い、学校ニーズに対応した学校キャンプの促進を図る「学校キャンプ支援事業」を実施する。（平成26年度は試行。平成27年度から本格実施。） 		<ul style="list-style-type: none"> ◆新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた学校キャンプの受け入れについて、感染症対策を行ったうえで、10月より再開した。 （令和2年10月～令和3年3月の間で16の学校が実施） 			
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

基本方策3 教職員の資質と指導力の向上

本市においては新規採用教職員が増加し、経験豊かな多くの教職員の退職が続く中、教職員の世代交代が進んでおり、倫理観・規範意識及び子ども理解と集団づくり、授業力やマネジメント力等、教職員一人ひとりの資質と指導力の向上が求められています。

平成26年度からの中核市移行に伴い、大阪府から教職員研修の権限が移譲されました。そのため、「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」をテーマに、本市の教育課題に即した独自のカリキュラム（指導計画）で教職員研修を実施し^①、「経験年数の少ない教職員の育成」「管理職及び専門性を備えたリーダーの養成」「主体的・対話的で深い学びのある授業づくり・授業改善への支援」を重点項目とした教職員研修の充実を図り、明日の枚方の教育を担う教職員を育成します^①。

また、教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力を有する教職員を育成するため、授業の達人・授業マイスターによる研究授業等により、授業改善につなげること^②で、子どもたちの「確かな学力」と「生きる力」を育みます。このため、教育委員会の学校支援機能を充実させる^③とともに、学校教育の水準の維持・向上に資するため、業務量を適切に管理することで、教職員の働き方を見直し、教職員が子どもたちと向き合う時間を確保します。

さらに、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」のための授業改善や、「カリキュラム・マネジメント」等の組織運営改善に係る教育課題に対応した研修^④のほか、情報活用能力の育成のため、ICT活用のねらいを明確にした教職員のICT活用能力の向上に係る研修にも取り組みます^④。

主要事業の概要・実績

3-①	枚方市教職員育成事業	担当課	学校教育室 (教育研修担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	4,604
概 要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ◆平成26年度からの中核市移行により、従来大阪府教育委員会が実施してきた府費負担教職員研修の初任者研修や10年経験者研修等の法定研修をはじめとする各種研修の多くを本市教育委員会が実施。 ◆『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむことを目標に、「キャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成」「主体的・対話的で深い学びの実現に向け、『Hirakata授業スタンダード』に基づいた授業改善(第2ステージ)」「子ども理解を基盤とした学校経営や学級経営、授業研究・研修への支援の充実」の3点を重点項目とし、「基本研修」及び「専門研修」を計画・実施。 ◆新学習指導要領を踏まえた授業づくり、授業改善及び教員の授業力の向上等に向け、指導主事や教育推進プランナー(学校教育に関して高い見識や経験を有する校長経験者等)が学校園を訪問し、経験の浅い教員への指導助言、校内研修等での指導助言、学校運営への支援を実施。 ◆枚方市が取り組んでいる「教育」を広く市民に情報発信するとともに、今後の枚方の「教育」の方向性について市民と共有する場として「枚方市教育フォーラム」を実施。 ◆新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、国が推進するGIGAスクール構想が前倒しとなったことに伴い、各校の代表者や指導主事等で構成する情報教育推進ワーキングチームを中心に、ICT機器の効果的な活用をめざした取組を実施。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆令和2年度は、令和元年度に引き続き、『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ』をテーマに、①キャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成、②「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「Hirakata授業スタンダード」に基づいた授業改善(第2ステージ)、③子ども理解を基盤とした学校経営や学級経営、授業研究・研修への支援の充実を重点項目として、本市の教育課題に応じた独自のカリキュラムのもと、初任者研修や10年経験者研修をはじめ、教職員の経験・職務に応じた基本研修及び教育課題や教科等の専門性を高める専門研修を実施し、教職員の資質・指導力の向上を図った。 ◆本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、研修の実施については、変更計画の策定に基づき、延期・中止・代替措置を検討した結果、基本研修126回、専門研修44回、計170回に加え、臨時研修を13回実施した。 ◆また、教育推進プランナーを中心にした経験年数の少ない教員の育成及び学校園運営の支援、校内研究・校内研修の支援等についても、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学校訪問を自粛した結果、495回の訪問実施にとどまっている。 ◆各校1名の代表者64名と指導主事等で構成する情報教育推進ワーキングチームメンバーを令和2年6月に発足し、そのうち中心となるメンバー16名をコアメンバーとして位置付け、コアメンバー、指導主事等で構成するコア会議を、年間20回開催(内19回 オンライン)。64名全員が参加するジェネラル会議を年間3回開催(内2回 オンライン)。その他、64校を6つのユニットに分け、年間を通してGoogleのオンライン上のclassroomで情報共有、情報交換を実施した。本市の情報教育推進ワーキングチームの取組は、先進的な取組として様々な団体から取組発表の依頼を受け、全国へ発信した。令和3年度も新たなメンバーを募集し、ICT機器の効果的な活用をめざした研究を市内全小中学校と教育委員会が一体となって実施予定。 			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	平成29年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

3-②	授業の達人養成・教科研究事業	担当課	学校教育室 (教育研修担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	300
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
<p>◆児童・生徒の確かな学力を育むため、高い指導力のある優れた教員の育成を図ることを目的とした「授業の達人養成講座」を実施。</p> <p>○授業の達人養成講座（※段階的に『達人』に認定するシステムを構築する）</p> <p>◆外部講師として年間を通じて大学教授等、教育のスペシャリストを招聘。</p> <p>◆教材研究、学習指導案の検討を行い、年間2回の研究授業（公開授業）を実施。</p> <p>◆先進地域、先進校への視察を実施。</p>		<p>◆豊かな人間性と高い専門性を有する優れた教員（「授業の達人」）を養成することを目標に、授業の達人養成講座を実施した。</p> <p>◆令和2年度は、2年継続研修の初年次として、『授業の達人養成講座』を年間12回実施予定としているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数は10回であった。</p> <p>◆研修講座では、専門的な知識を有する外部講師を招いての講義・演習を通して、新学習指導要領に示されている資質・能力を育むための授業実践等についての理解を深めるとともに、受講者相互の実践交流を通して、自身の実践に生かすようにした。</p> <p>◆また、受講者の授業を指導主事が参観し指導することで、実践的な指導力を高めた。</p>			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

3-③	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	学校教育室 (教育指導担当) 公立保育幼稚園課
-----	-----------------------	-----	-------------------------------

基本方策4 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実

障害のある子どもをはじめ、すべての子どもたちが学校・地域社会の中で積極的に交流・活動し、「ともに学び、ともに育つ」という観点から、障害への理解の促進や、ともに育ちあう集団づくり等を踏まえた教育を推進する必要があります。また、支援教育を進めるにあたっては、一人ひとりの自立に向けた効果的な指導・支援の充実が求められています。

障害のある子どもと障害のない子どもが交流や共同学習を通じ、ともに学び、互いを理解する教育を一層充実させる^①とともに、通常の学級においてユニバーサルデザインによる授業づくりに取り組みます^①。

障害のある子どもや、配慮を要する子どもに対する支援ツールとして、タブレット端末等のICTを活用するとともに、タブレット端末の入出力が困難な場合にも対応できるよう、音声文字変換や視線入力システム等の入出力支援装置の整備を進めます^①。

また、平成28年4月施行の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」を踏まえ、障害のある子ども一人ひとりのニーズに応じた教育環境の整備を進める^{①②④}とともに、支援教育に関する教職員研修の充実に取り組みます^③。

さらに、配慮を要する子どもについて、支援教育コーディネーターを中心として、より具体的な個別の教育支援計画の作成・見直しを行う^{①②④}とともに、保護者、支援学校等の関係機関と連携し、支援が必要なすべての子どもについて全教職員の共通理解のもと、学校全体で支援教育の充実に取り組みます^{①②④}。

主要事業の概要・実績

4-①	支援教育推進事業	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	236,598
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ◆通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援に関し、学校に専門家を派遣し指導・助言する。 ◆教育支援推進室職員が、学校園、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施する。 ◆小中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動を支援するために、非常勤講師を加配する。 ◆肢体不自由児介助員を配置し、小中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、訓練、学習等の介助を行う。 ◆学校看護師を配置し、医療的ケアを必要とする幼児・児童・生徒の学校園における日常生活を支援する。 ◆肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施する。併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行う。 ◆支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び新設支援学級の設備整備を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援のため、氷室・津田南・交北・明倫小学校の4校に専門家を派遣し、指導・助言を行った。 ◆教育支援推進室職員が、学校、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施した。 ◆小中学校の支援教育の中心となる支援教育コーディネーターの活動を支援するために、非常勤職員を全小中学校に加配した。 ◆肢体不自由児介助員を20人配置し、小中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、訓練、学習等の支援を行った。 ◆学校看護師27人(会計年度任用職員学校臨時看護師)を配置し、医療的ケアを必要とする児童・生徒の学校における日常生活を支援した。 ◆肢体不自由児童・生徒に対し、理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施している。合わせて支援学級担任に対して、日常訓練の指導・助言を行った。 ◆支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び令和2年度に新設した支援学級の設備整備を検討し、必要な備品を購入した。 			
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

4-②	通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	3,731
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆小中学校に在籍する肢体不自由児や腎炎・ネフローゼ児等通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。 ◆市内に在住する支援学校等に在籍する通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。		◆毎日利用の児童・生徒9人、雨天時利用の児童・生徒27人に対して、支援金を交付した。			
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

4-③	枚方市教職員育成事業【再掲】※基本方策3に記載	担当課	学校教育室 (教育研修担当)
-----	-------------------------	-----	-------------------

4-④	幼児支援教育推進事業	担当課	公立保育幼稚園課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	5,331
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆幼稚園巡回相談を実施し、発達障害等があり教育的支援を必要とする幼児への個に応じた指導について、専門的な知識・技能をもつ相談員を市立幼稚園及び市内の私立幼稚園・認定こども園に派遣する。相談員が教職員への指導・助言を行うとともに保護者からの教育相談に応じることにより、各園及び家庭との連携を通して、支援教育の一層の充実を図る。 ◆就学前の幼児を対象とした言語訓練指導(幼児ことばの教室)を実施し、吃音、構音障害など、主に言語面に課題がある5歳児を対象に、元小中学校通級指導教室担当の指導員が個別指導を行う。 ◆幼稚園に在籍する個別の支援や配慮を要する幼児への指導・支援に関し、特別支援加配員(旧:支援教育担当)及び生活支援員を配置する。また、医療的ケアを必要とする園児への日常生活の支援をする為、看護師を配置する。		◆発達障害等があり教育的支援を必要とする幼児や保護者に対して相談員を派遣するとともに、主に言語の障害のある5歳児を対象とした言語訓練指導を実施した。 ◆市内の公私立幼稚園及び認定こども園に対し、相談員を派遣した回数:379回 ◆幼児ことばの教室の実施回数:224回 ◆支援等が必要な幼児に対し、支援教育担当職員及び生活支援員を配置するとともに、医療的ケアを必要とする幼児に対して日常生活を支援するための看護師を配置した。 ◆支援教育担当の配置状況:19名 生活支援員の配置状況:27名 医療的ケア看護師の配置状況:3名			
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	—			

基本方策5 幼児教育の充実

少子化の進行、核家族化や男女共同参画社会の進展、ひとり親家庭の増加等、子どもの育ちや子育て支援へのニーズが多様化する中で、子どもの生きる力と個性を育む環境が求められています。幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を養う重要なものであり、様々な体験を通して幼児が心身ともに健やかな成長をとげられるよう、幼児一人ひとりの発達や特性に応じた取組を進める必要があります^①。

幼児教育の目的は「生涯にわたる人格形成の基礎を養う」ことであり、令和元年度から市立幼稚園で拡充した3歳児保育などに引き続き取り組みながら、「幼稚園教育要領」にある、自立心や協同性、道徳性などの「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を実現するため、幼児一人ひとりの望ましい発達を育むとともに、学級集団に応じた適切な指導を行います^{①②③}。また、幼児期（幼稚園・保育所（園）・認定こども園等）と児童期（小学校）の教育の円滑な接続・連携を図り、学びや発達の連続性を踏まえた取組を推進します^{①②}。

加えて、幼稚園の預かり保育については、実施時間の延長などの充実を図ってきており、今後も引き続き、保護者の心身のリフレッシュや就労等のニーズに対応できるよう取り組みます^{④⑤}。

また、地域の未就園児も含めた親子での遊びの場の提供や、保護者交流の場の提供、さらには子育て相談の取組を推進します^④。

主要事業の概要・実績

5-①	幼児教育充実事業	担当課	公立保育幼稚園課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	588
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆幼児教育の充実を図ることを目的とし、小学校へのなめらかな接続をめざした幼小連携の推進や、幼児に豊かな心を育む多様な体験の機会の提供、また、地域の幼児教育のコーディネーター的な役割が果たせるよう、小学校・私立幼稚園・認定こども園・公私立保育所（園）等と連携を図るとともに、未就園児親子が参加できるイベントや子育て講座の開催、育児相談等に取り組む。		◆小学校の空き教室での給食体験や授業体験、校庭での散歩やどんぐり拾いなど、幼児が小学校生活に期待や親しみが持てるような活動を、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しながら実施した。 また、併せて幼小連携推進に関する職員間での打ち合わせや、支援を要する幼児の進学に向けての連携会議を実施した。 ◆各幼稚園にて見学会を実施し、市立幼稚園の施設や保育内容について広く周知できる機会をつくった。また、園開放や幼児教育教室に参加する保護者からの育児相談に応じ、発達や親子関係の悩み、また幼稚園選びの相談などにも応じた。			
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	—			

5-②	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	学校教育室 (教育指導担当) 公立保育幼稚園課
5-③	学校支援社会人等指導者活用事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	学校教育室 (教育指導担当) 公立保育幼稚園課

5-④	幼稚園保護者支援充実事業	担当課	公立保育幼稚園課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	67,377
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆幼稚園で預かり保育を実施し、幼児の心身の健全な発達を促すとともに、幼児教育の充実と保護者の子育て支援及び就労支援の充実を図る。また、2・3歳の未就園児及び保護者が、安心して遊び、交流できる場として幼児教育教室を実施し、家庭の教育力を高めるとともに、子育て不安の軽減等を図る。		◆預かり保育は延べ1,723日実施し、延べ28,218人が利用した。 ◆幼児教育教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月までは実施を控え、7月から参加人数を調整しながら実施したが、1・2月についても緊急事態宣言が発令されたため、再度実施を控えた。なお、延べ148日実施し、延べ1,187人が利用した。 ◆就労支援の一環として、令和3年10月から幼稚園給食をモデル的に実施するための予算を、令和3年度当初予算に計上した。			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	第2期枚方市子ども子育て支援事業計画			

5-⑤	市立幼稚園における3歳児保育実施事業	担当課	公立保育幼稚園課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	588
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆平成30年度に改正された「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」において、就学前の子ども（3～5歳児）に対する共通の教育目標が示され、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として改めて幼児教育が重要と位置づけられた。 ◆そうした中、教育内容の充実を図るため、公立幼稚園（6園）において、令和元年度から新たに3歳児保育を開始するとともに、預かり保育時間を7～19時に拡充することで、待機児童対策の一環で1・2歳児の小規模保育事業に取り組んでいる4園（枚方・高陵・蹉跎・田口山幼稚園）については、小規模保育施設から公立幼稚園まで切れ目のない教育・保育を提供する「枚方版子ども園」として運営する。		◆引き続き、市立幼稚園6園（枚方・香里・樟葉・高陵・蹉跎・田口山）において3歳児保育を実施するにあたり、幼稚園見学会や個別の入園に関する相談受付を実施するとともに、令和3年4月入園予定の園児のための募集要項等を作成し、ホームページや広報での周知に取り組んだ。 ◆また一部の幼稚園においては、預かり保育の定員を越える申し込みがあった日について抽選を実施し、利用人数の調整を行った。 (参考) 1次募集での決定人数：115人 2次募集での決定人数：17人			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			
	市長公約	—			
	実行計画	平成30年度9月補正実行計画			
	関連計画	就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン 第2期枚方子ども子育て支援事業計画			

基本方策6 社会に開かれた学校づくりの推進

近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりが必要であり、保護者や地域住民とともに学校運営を進める「社会に開かれた学校づくり」の推進が求められています。

保護者や地域住民の理解や協力を得て、各学校において特色ある教育活動を展開していくため、子どもが抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みやコミュニティ・スクール等、学校運営に地域住民や保護者が参画する体制の構築に取り組みます^①。また、子どもたちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」の実現に取り組みます。

学校園の信頼の醸成や課題解決の促進のため、全国学力・学習状況調査の結果や分析をはじめ、「学校いじめ防止基本方針」や校内における相談体制等について、ホームページに掲載するなど、学校の取組や子どもの状況等の情報を積極的に公表し、地域や保護者等との協力関係の構築へつなげていきます^①。また、学校と保護者との連絡体制について、ミルメールの改善、双方向の連絡手段の構築に取り組みます。

教育に関わる課題が多様化・複雑化する中、より地域や保護者との協力関係を築きながら、学校の組織としてのあり方の見直しや業務の改善を進める^①ことで、「チーム学校」としての機能を果たせるよう、学校園ガバナンスの確立に取り組みます。

主要事業の概要・実績

6-①	コミュニティ・スクール推進事業	担当課	学校教育室 (教育指導担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	3,031
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆保護者や地域住民等から構成され、学校運営や運営への必要な支援に関して協議する枚方におけるコミュニティ・スクールを小学校に順次に設置する。また、研究会等を開催し、枚方におけるコミュニティ・スクールの実践事例の紹介、設置校の取組の発信を行い、「地域とともにある学校づくり」を推進する。		◆前年度までに設置した27校に加え、新たに18校において学校運営協議会を設置して、全45小学校がコミュニティ・スクールとなった。 ◆12月にコミュニティ・スクール実践報告会を開催し、実践事例の紹介や各校の取組みについての情報を発信するとともに、「地域とともにある学校づくり」を推進した。			
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	平成29・30年度・令和2年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成30年度当初実行計画			
	関連計画	—			

基本方策7 学びのセーフティネットの構築

近年、登下校時の交通事故や不審者等により子どもが犠牲となる事件・事故が生じており、子どもが安全で安心して学べる環境づくりが求められています。

また、インターネット等によるいじめや、学校生活や家庭環境など様々な理由による不登校等、生徒指導上の課題が深刻化する中、子どもたちが安全に安心していきいきと学校での時間を過ごせる環境づくりが必要です。

子どもが安全で安心して学べる環境づくりに向けて、オートロックや機械警備等による学校施設内の安全確保^①や、地域で行われている子どもの安全を見守る活動との連携のほか、防犯カメラや、専用端末を使用した子どもの位置情報履歴確認サービス等による通学路の安全対策の強化を図ります^②。また、不審者情報等の緊急情報を保護者にメールで配信するシステムを有効活用する^③とともに、同システムの改善を通じて安全・安心な体制の構築に努めます。

さらに、近年の子どもが巻き込まれた事件・事故や、大規模災害の教訓を生かし、子ども自らが危険を回避する能力を養う安全・防災教育を推進します^④。

新型コロナウイルス感染症等への対応として、必要な消耗品等の配備や、消毒作業の実施など、状況に応じた安全対策を図るとともに、子どもたちには、自分や周囲の大切な人を守るための実践力を育てます。

いじめは重大な人権問題であるとの認識のもと、被害者が精神的苦痛や不安を克服できるよう支援するとともに、加害者への教育的配慮等、学校園において誠実かつ丁寧に組織的対応を行います^{④⑤⑥⑦⑧⑨}。いじめの防止、早期解決に向けては、SSW等の専門家に加え、新たに市が委嘱するスクールロイヤーを活用します^{⑤⑩}。

児童・生徒の不登校の兆しにも留意しながら、より一層の未然防止に努めます^{⑦⑧⑨⑩}。あわせて、不登校児童・生徒への対応としては、登校しやすい学校づくりを進めるとともに、社会的自立をめざし学校への復帰以外の選択肢があることを含め、一日も早く社会との関わりを取り戻すことができるよう支援を進めます^{⑦⑩⑪}。また、これまでの対応に加え、ICT等を活用した学習活動など個に応じた取組を進めます。

子どもの貧困対策については、子育て家庭への経済的な負担軽減や学習支援、相談支援など様々な施策を横断的かつ重層的に活用しながら、適切な支援を進めます^{⑦⑨}。

また、不登校やひきこもり、児童虐待、子どもの貧困等、支援を必要とする児童・生徒に関わる様々な事象に対しては、未然防止や早期対応ができるよう、行政各分野が持つ子どもの情報の共有化を適切に進めるとともに、今後、制定する「(仮称)子どもを守る条例」を踏まえながら、関係部署、関係機関、地域とともに総合的な取組を進めていきます^{⑤⑨⑩}。

主要事業の概要・実績

7-①	小学校安全監視事業	担当課	新しい学校推進室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	33,009
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ◆全小学校の正門に設置した監視カメラ、正門のオートロック装置に連動したワイヤレスモニター子機付きインターホン及び監視カメラの映像を録画するデジタルレコーダーを活用し安全監視を実施する。 ◆来校者の多い時間帯や児童の下校時間に人的配置を行い、人の目による安全監視を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆児童の安全・安心な学習環境の確保を行うために、監視カメラ等の機器の修繕等を必要に応じて行った。 ◆来校者の多い時間帯や児童の下校時間帯等では、機器の活用だけではなく安全監視員などを配置し、人の目による監視を行い、子どもの安全を確保する環境を維持した。 			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	—			

7-②	通学路安全対策事業	担当課	新しい学校推進室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	19,710
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ◆交通量が多く、信号機のない横断歩道や踏切等の通学路の危険箇所に対して、交通専従員、交通指導員を配置し、児童の登下校の安全を図っている。関係機関と連携し、児童の通学環境の改善に取組、交通専従員、交通指導員の効果的・効果的な配置を行う。 ◆関係機関と連携した通学路の合同点検を実施する。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆小学校18校(30箇所)に59人の交通専従員・交通指導員を配置し、登下校の安全確保を図った。令和2年12月から令和3年1月にかけて、全配置箇所の現地調査を行い、交通量や道路状況の実態を把握した。 ◆小学校を通じて報告のあった危険箇所を、「枚方市通学路交通安全プログラム」に基づき、道路管理者、教育委員会、警察署等で構成する通学路安全対策連絡会議で協議をしたうえ、合同点検を実施した。 			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

7-③	小中学校安全対策事業	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	2,626
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ◆学校園において、危機管理マニュアルを見直し、実践的な避難訓練を実施する。 ◆学校園においては、一般の安全指導の他、交通安全教室等を実施する。 ◆小学校において、胸骨圧迫とAEDの取り扱いに特化した救命講習を実施する。 ◆小学校において防災キャンプを実施する。 ◆学校園において、メール配信システムを活用し、不審者情報や暴風警報等発令時の具体的な対応を関係機関、保護者に提供する。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆市として統一した地震発生時の対応マニュアル及び大雨警報等発表時の対応マニュアルを策定し、各学校ではその内容も含めて策定した危機管理マニュアルに基づき、実践的な避難訓練を順次実施した。 ◆不審者情報等を入手した際は、各学校園および警察等の関係機関に情報提供を行い、各学校から保護者に対してメール配信システムを活用することで、緊急の情報を提供した。また、暴風警報等発令時には、教育委員会から各学校に通知するとともに、各学校から保護者にメール配信することで、全小中学校が統一した対応をとれる仕組みを整えた。 			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

7-④	生徒指導充実事業	担当課	学校推進室 (教職員担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	42,720
概要			令和3年3月31日時点の進捗状況		
<p>◆生徒一人ひとりの状況に応じた支援や指導をするため、生徒指導主事は、スクールカウンセラー等とより緊密に連携し、専門的な立場からアドバイスを受け、担任や学年に対しての指導・助言に当たる。教員は、生徒たちへの接し方を工夫し、一人ひとりに対してよりきめ細かな指導を行う。</p> <p>◆生徒指導体制を強化する必要があると認められる学校に加配講師を配置することにより、授業が軽減された生徒指導主事が中心となり、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させ、いじめや暴力行為などの問題行動に対して迅速かつ適切に指導を行う。</p> <p>◆各学校において策定のいじめ防止基本方針に基づき枚方市生徒指導マニュアル(いじめ防止編)を用いた教職員の研修及び児童・生徒に対するいじめアンケートの実施、枚方市生徒指導マニュアル(体罰防止編)を用いた教職員の研修等により、いじめの未然防止と体罰の根絶に努める。</p>			<p>◆加配希望があった学校からの調書等、複数の観点から精査した結果、令和2年度は中学校6校に市費負担任期付教員を1人ずつ配置し、3校には非常勤講師を1人ずつ配置した。生徒指導主事が中心となって、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させ、いじめや暴力行為などの問題行動に対して関係機関と連携し、迅速かつ的確に指導を行った。</p> <p>◆年度当初及び例年は夏季休業期間中等に、枚方市生徒指導マニュアル(いじめ編)(体罰防止編)等を用いた教職員研修を実施し、いじめの未然防止と体罰の根絶に努めた。</p> <p>◆加配講師(任期付講師)配置校 令和2年度 学校名 津田中、枚方中、中宮中、桜丘中、蹉跎中、招提北中</p>		
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子供たちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

7-⑤	いじめ問題対策事業	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	847
概要			令和3年3月31日時点の進捗状況		
<p>◆枚方市の関係部課と外部関係機関に属する者で構成される枚方市いじめ問題対策連絡協議会の定例会を年3回開催する。</p> <p>◆枚方市学校いじめ対策審議会定例会を年2回開催する。また、必要に応じて臨時会を開催する。</p> <p>◆「ストップ!いじめ」全小中学校の新入生の保護者を対象に、いじめ問題に対する啓発冊子として配付する。</p>			<p>◆枚方市いじめ問題対策連絡協議会の定例会を例年3回実施している。今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、1回目は7月に書面開催。2回目は10月30日、第3回は2月に書面開催で実施した。</p> <p>◆枚方市学校いじめ対策審議会は、定例審議会を8月25日と2月8日に開催した。</p> <p>◆ひらかた学校応援チームで学校園を訪問し、学校における問題解決のための支援を行った。</p> <p>◆家庭と連携した「いじめ問題」防止の啓発のため、4月に「ストップ!いじめ」を全小中学校の新入生保護者に配付した。</p> <p>◆枚方市いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止、早期発見・早期解消に向けて取り組んだ。</p> <p>◆各学校においては、学期に1回以上、児童・生徒に対するいじめアンケートと教育相談を実施し、いじめの未然防止に努めた。また、生起したいじめ事案は組織的に対処し、解消に向け、取り組んだ。</p>		
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	平成28・29・30年度・令和2・3年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

7-⑥	スクールアドバイザー派遣事業	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	240
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
○スクールアドバイザーの業務 ◆事件、事故等緊急を要する事例に対しての派遣を行っている。 ○スクールアドバイザーとして派遣する者 ◆臨床心理士等の専門的な知識・経験を有する者の中から、教育支援推進室が依頼した者		◆令和2年度は、9校(小学校5校、中学校4校)に延べ17回派遣し、教職員39人、児童・生徒24人、保護者8人、その他2人の支援にあたった。			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

7-⑦	教育相談事業	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	10,277
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
○子どもの笑顔守るコール(いじめ専用ホットライン・教育安心ホットライン) ◆幼児・児童・生徒やその保護者等に対する電話による教育相談を行う。(平日 9:00~17:00) ○継続教育相談 ◆幼児・児童・生徒やその保護者等に対する面談による教育相談を行う。(要予約 月~金) ○メンタルヘルス相談 ◆教職員に対するメンタルヘルス相談を行う。(要予約 月・金の午後)		◆幼児・児童・生徒やその保護者等に対する電話及び面談による教育相談、また、教職員のメンタルヘルス電話相談を行うことにより、それぞれが抱える課題等について適切に対応した。			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

7-⑧	「心の教室相談員」配置事業	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	8,530
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆全小学校に、「心の教室相談員」を配置し、児童・保護者に対する教育相談及び教職員への助言を行う。 ◆相談員を、児童数に応じて、1校につき年間37回派遣する。		◆全45小学校に「心の教室相談員」を配置し、児童・保護者に対する教育相談及び教職員への助言を行った。 ◆相談員を児童数に応じて、1校につき37回程度派遣した。			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

7-⑨	福祉教育ソーシャルワーク事業		担当課	子どもの育ち見守りセンター	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	22,300
概要			令和3年3月31日時点の進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ◆就学前・就学後の支援の継続性の確保と連携強化を図るため子どもの育ち見守りセンターへ移管（補助執行）する。 ◆配置または派遣する学校の教職員とのチーム体制によるケース対応 ◆教職員と連携した校内ケース会議のファシリテーションや福祉的手法に基づく教職員への相談援助 ◆小中合同ケース会議等、小・中学校教職員が協働した小・中学校間連携の推進 ◆学校と関係機関等との連携のコーディネート ◆中学校派遣のスクールカウンセラーとの連携 ◆小中一貫教育を見据えた系統性・継続性のある生徒指導体制の構築 ◆子どもの育ち見守りセンター等が開催する研修会、連絡会等への参加 ◆法律、福祉、心理、教育の専門分野のスクールソーシャルワーカー・スーパーバイザーを設置しスクールソーシャルワーカーへ指導助言を実施 スクールソーシャルワーカーを配置する拠点校以外の学校についても月に1回程度巡回し、児童・生徒の様子や学校の状況について確認・助言 ◆その他、教育長が認める事項に関すること 			<ul style="list-style-type: none"> ◆SSWは校内チーム体制を組んで福祉部門等と連携しながら、ケース対応を行った。 ◆8中学校区及び適応指導教室に社会福祉士または精神保健福祉士の資格を有するSSWを配置しており、校内チーム体制を構築しながら、教職員とともにケース対応や、必要に応じて関係機関等との連携のコーディネートを行った。 ◆SSWは配置された学校において、福祉的手法の助言や校内または拡大ケース会議のファシリテーションを行っている。この中で、関係機関やスクールカウンセラー等とも連携した。 ◆ひらかた学校応援チームの活動は97回実施している。各学校の課題に対する助言や、必要に応じてスクールソーシャルワーカーの緊急派遣の提案を行った。なお、スクールソーシャルワーカーの緊急派遣依頼は36回あった。 ◆緊急派遣先の学校においては、校内ケース会議・拡大ケース会議への参加や関係機関等との連携のコーディネートなどを行った。 ◆枚方市子どもの育ち見守りセンターが主催する連絡会等は6回実施した。 ◆スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザーのスクールソーシャルワーカー及び学校への指導助言は個別を40回、グループを2回実施した。 			
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち				
	市長公約	平成28・29年度・令和2年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

7-⑩	不登校児童・生徒支援事業		担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	13,097
概要			令和3年3月31日時点の進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ◆不登校の兆候が見えた児童・生徒に対して、その要因や背景に応じた適切な支援を行うことにより、不登校の未然防止に努めるとともに、不登校児童・生徒に対して、校内適応指導教室などを活用して、教育相談や学習支援などを行い、不登校児童・生徒に対する適切な支援を行う。 ◆枚方市不登校支援協力員連絡会を開催し情報交換を図る。 ◆月1回中学校区ごとに小中学校間の情報交流を行う。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆不登校の兆候が見えた生徒に対して、その要因や背景に応じた適切な支援を行うことにより、不登校の未然防止に努めた。不登校生徒に対しては、不登校支援協力員により、校内適応指導教室などを活用して、教育相談や学習支援を行った。 ◆市内全中学校と7小学校に不登校支援協力員を配置し、不登校の未然防止に取り組むとともに、不登校生徒の要因や背景に応じた適切な支援を行った。 ◆新たな不登校を生まない取組として、生徒指導主事やこども支援コーディネーターと連携して情報共有を図った。 ◆枚方市不登校支援協力員連絡会は、例年年間3回、枚方市小中学校生徒指導連絡会は、例年年間11回開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止した。 			
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち				
	市長公約	平成28・29年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

7-⑪	適応指導教室事業	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	10,348
概 要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
<p>○入室児童・生徒</p> <p>◆学習活動・体験活動・創作活動等、社会的自立をめざした支援・指導を行う。</p> <p>○訪問指導</p> <p>◆学生指導員が家庭訪問を行い、主体的な活動への支援を行う。</p> <p>○馬とのふれあい体験</p> <p>◆馬の世話を通して、不登校状態にある児童・生徒の指導・支援を行う。</p>		<p>○入室児童・生徒</p> <p>◆主に、心理的要因で不登校状態にある児童・生徒に対し、教育文化センターに設置している適応指導教室「ルポ」で学習支援、グループ活動、カウンセリング、保育体験、福祉体験、馬とのふれあい体験などを通し、支援・指導を行っているが、令和2年度の保育体験は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。</p> <p>○訪問指導</p> <p>◆訪問指導において、保護者の悩みを聴くとともに、生徒の状況に良い変化を見て取ることができた。学生指導員と担当指導主事は、毎週水曜日、10時から2時間程度家庭訪問を実施した。</p> <p>○馬とのふれあい体験</p> <p>◆「セルフわらしべ」にて、6日間、延べ8人参加した。</p> <p>①令和2年10月27日～29日の3日間 ②令和3年2月2日～4日の3日間</p>			
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	平成28・29年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

基本方策8 学びを支える教育環境の充実

少子化の進行による児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化が進む中で、学校施設の更新や教育の情報化の推進等、より安全で充実した教育環境が求められています。また、教職員の多忙化が課題となる中で、教職員が授業や子どもたちと向き合う時間を確保するための取組が必要です。

令和2年3月に策定した「枚方市学校整備計画」に基づき、トイレの洋式化・ドライ化や校舎の長寿命化改修などの計画的な整備を進めます^{①②}。

空調設備については、令和2年度で終了する「枚方市学習環境整備PFI事業」の検証を踏まえ、令和3年度以降、より効果的・効率的な維持管理・更新を行うとともに、学校体育館への空調設備の計画的な整備が図られるよう取り組みます^②。また、適正な学校規模とする学校配置等の適正化に取り組みます^③。

また、ICTを効果的に活用したわかりやすく深まる授業や個に応じた家庭学習の充実を実現するため、教職員・児童・生徒に対し、一人一台のタブレット端末や周辺機器等を配備するなど、教育の情報化を推進します^④。

また、教育委員会と学校とが、今まで以上に一体となって学校運営を進めていくため、ICT等を活用したより効率的な情報共有や連絡体制の確立をめざします。

さらに、教職員が子どもと向き合い、指導に専念できる時間をより多く確保するため、ICTを活用し通知表や指導要録等の事務処理を軽減する^⑤とともに、より効果的・効率的な学校運営に向けての見直しや、教職員の健康保持等、勤務環境の整備に取り組みます。

衛生面に配慮した安全で安心な給食を安定的に提供する^⑥ため、老朽化が進む小学校給食調理場の計画的な更新整備に取り組みます^{⑦⑧}。

主要事業の概要・実績

8-①	学校園施設維持補修事業	担当課	施設整備室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	3,183,242
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ◆「枚方市学校整備計画」に基づいた保全工事及びトイレ整備を行う。トイレ整備における洋式化、ドライ化、ユニバーサル化については、令和5年度までの整備完了に向けて取り組む。 ◆安全対策及び学校からの要望に基づいた改修工事を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆「枚方市学校整備計画」に基づいた保全工事予定32件の内、31件の工事を完了した。新型コロナウイルス感染症による夏休み期間短縮の影響及び換気確保のために、1件の工事は実施できていない。実施済み工事の内5件は、校舎外壁改修を取りやめる等、工事内容を変更して実施した。 また、トイレ整備工事予定10件の内、8件の工事を完了した。中学校の教室棟トイレの2件は、夏休み期間短縮の影響により実施できなかった。 ◆安全対策及び学校からの要望に基づいた10件の改修工事を完了した。2件は、夏休み期間短縮の影響により実施できなかった。 また、消防設備や放送設備の改修、グラウンドの改良等に係る緊急工事5件を実施した。 			
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	平成30年度・令和2年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	枚方市市有建築物保全計画			

8-②	学校施設整備事業	担当課	施設整備室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	73,490
概要			令和3年3月31日時点の進捗状況		
◆平成27年3月に策定した「枚方市学校施設整備計画」にトイレ整備事業および枚方市市有建築物保全計画を一元化することで、より効率的な施設整備を図るとともに、コスト縮減や財政負担の平準化を考慮するものとして、令和2年3月に策定した「枚方市学校整備計画」をもとに、学校施設の総合的かつ計画的な整備や保全の推進に向けて、取組を進める。			◆長寿命化改修工事について、香里小学校は令和2年10月に工事を完了した。津田中学校は令和3年10月完了を目指し引き続き工事を実施中。		
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	平成29年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	枚方市学校施設整備計画			

8-③	学校規模等適正化事業	担当課	新しい学校推進室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	69,977
概要			令和3年3月31日時点の進捗状況		
◆将来における適正な学校の配置等を進めるため、審議会での答申を踏まえ、基本方針を策定し学校統合に向けた取組を進める。			◆「枚方市学校規模等適正化基本方針」に基づき、令和4年4月の高陵小学校と中宮北小学校の学校統合に向けて、保護者や地域コミュニティと協議等を行い、また、説明会を実施し、「枚方市学校規模等適正化実施プラン【高陵小学校と中宮北小学校】」を策定した。 ◆保護者や地域、学校の代表者等と(仮称)統合協議会の発足に向けた準備会議を行った。		
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	平成29・30年度・令和2・3年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

8-④	学校ICT機器等整備業務【再掲】※基本方策1に記載	担当課	学校教育室 (教育研修担当)		
-----	---------------------------	-----	-------------------	--	--

8-⑤	校務の情報化推進事業	担当課	学校教育室 (教育研修担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	22,962
概要			令和3年3月31日時点の進捗状況		
◆校務支援システムを更新し、学校における児童・生徒の情報を電子化して一元管理し、その情報を通知表、指導要録、出席簿等の作成や、成績・保健管理等に活用することで、教職員の事務を軽減し、児童・生徒と向き合う時間の確保と、よりきめ細かな指導による教育の質の向上を図る。また、個人情報等を含むデータをサーバにより一元管理することで個人情報の持ち出しを防止、学校内の情報セキュリティの向上を図る。			◆校務支援システムの円滑な運営のため、校内システム担当者を中心に、新・転任者等にも研修等で操作等の習熟に努めた。 ◆校内情報セキュリティ担当者に対し、個人情報の取り扱い等について研修を実施するとともに、各校で情報セキュリティ研修を行うことで、セキュリティに対する教職員の理解を深めた。		
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	令和2年度市政運営方針			
	実行計画	—			
	関連計画	—			

8-⑥	学校給食事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	おいしい給食課
-----	---------------------	-----	---------

令和2年度で終了

8-⑦	第三学校給食共同調理場の老朽化対策事業	担当課	おいしい給食課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	—
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆第三学校給食共同調理場の老朽化対策のため、既存の小学校単独調理場6箇所をセンター方式の共同調理場又は親子方式共同調理場に転換し、今後必要となる調理・配送能力を確保できるよう改築・改修を行い、小学校給食の安定的・継続的な提供を確保する。		◆6箇所のセンター方式の共同調理場及び親子方式共同調理場が完成し、令和2年度で本事業は完了した。			
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	平成29年度市政運営方針			
	実行計画	平成29年度当初実行計画			
	関連計画	—			

令和3年度新規

8-⑧	樟葉西小学校給食調理場改修事業	担当課	おいしい給食課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	11,300
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆単独調理場は、老朽化対策とドライシステム導入が喫緊の課題である。樟葉西小学校給食調理場は、建築後45年が経過する学校併設の最も古い単独の調理場の一つであり、地盤沈下による施設の不具合や給排水設備などの改修が必要なことから、経費・工期の縮減が見込める既存の建物を活用する長寿命化改修工事を行い、ドライシステム調理場として整備する。 ◆今後の予定として、令和3年度に給食調理場長寿命化改修における設計委託を開始し、令和4年度から工事開始、令和5年度に供用開始の予定である。		◆令和2年度に、樟葉西小学校給食調理場を長寿命化改修工事の対象として選定し、令和3年度の設計委託の予算化をはじめ、改修工事に向けて必要となる手続きを行った。			
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			
	市長公約	令和2・3年度市政運営方針			
	実行計画	令和3年度当初実行計画			
	関連計画	—			

基本方策9 生涯学習の推進と図書館の充実

社会が激しく変化し、複雑になる中で、生涯にわたり自らに必要な知識や能力を身に付けることが必要となっています。そうしたことを支えるためには、子育て、健康・医療・介護、職業、情報社会、安全・防災、環境問題等、様々な課題に関する学びと、その成果を生かす機会が生涯にわたって提供されることが必要です。

それぞれの分野における様々な行政部門・団体との連携を強めながら、特に基礎的な知識・技術の学習機会の提供に取り組みます^{①②}。また、その学習の成果を、さらに地域において生かすことができる環境づくりを進めます。

図書館においては、これまでの図書館運営の成果と課題を検証したうえで、「枚方市立図書館第4次グランドビジョン」を策定（令和3年3月予定）し、知の源泉となる図書館資料を収集・保存し、市民ニーズに応じた資料や情報を提供する基本的な役割を果たす^{③④⑤⑥⑦⑧⑨}ことで、誰もが読書に親しむとともに、様々な課題の解決につながるよう支援します。また、新型コロナウイルス感染症等に対応する新しい生活様式を踏まえ、電子媒体を活用した非接触型の新しいサービス提供に向けた検討を進めます^⑩。

読書が果たす重要な役割を踏まえ、学校図書館に対する中央図書館による支援強化^⑪や、小学校への学校司書配置など、学校図書館機能の充実を図ることにより、児童・生徒の読書活動を推進します^⑫。

主要事業の概要・実績

9-①	社会教育活動推進事業	担当課	教育政策課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	5,790
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ◆社会教育基礎講座…人が地域で生活していくために必要な基礎的な知識や技術の習得の機会を提供する。 ◆家庭教育支援事業…自分の子育てを振り返る機会を提供し、“気づき”を促す。また、親と子が協力し一つのことを成し遂げたり、何かを作ったりすることで、コミュニケーションを図り、父親の家庭教育への参加を促す講座を開催する。 ◆社会教育（人権）講座等…お互いの違いを理解し、尊重することの大切さについて考える機会の提供などを行う講座や、日本語の読み書きや話すことに支障があるため、日常生活に困難を有する人に対し、日本語の学習の場を提供することを目的とした、「枚方市日本語・多文化共生教室『よみかき』」等を実施する。 		<p>令和2年度は、『つながる、気づく』を共通のテーマに設定し、以下の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆社会教育基礎講座は、「地域歴史講座 第1回 初歩の初歩 蹉跎の歴史」に25人（定員40人）、「もしものときのための応急手当講座」に16人（定員20人）の参加があった。 ◆家庭教育支援事業は、「子育て応援！親学び講座」（計2回、1回は中止）に延べ122人（定員122人）、「親子でアート！ビーチグラスでモザイク画を作ろう！！」に12組34人（定員15組30人）の参加、「親子でマジシャンになろう！親子のコミュニケーションマジック講座！」に12組32人（定員15組30人）の参加、「スマホが思春期に与えるホンマでっか！な影響について」に9人（定員30人）の参加があった。「私にわかる方法で教えて～発達障害絵本『学校コワイ』に込めた思い～」については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止した。 ◆社会教育人権講座として予定していた『「大阪のおばちゃん』のスーパーコミュニケーション術！～まあい関係が何よりおトク！～』は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止した。また、枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」についても、令和2年4月1日から6月30日、令和2年12月7日から令和3年2月28日は開催を中止。延べ開催日数は327日、学習者延べ1,284人が参加した。 ◆枚方市教育委員会と枚方市PTA協議会との共催事業についても新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止した。 			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	—			

9-②	生涯学習事業	担当課	文化生涯学習課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	16,971
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
<p>◆生涯学習事業の推進 他部署との連携事業や美術関連事業等、各生涯学習市民センターを実施場所として各種事業を実施。また、生涯学習市民センターまつりなど実行委員会形式により、市民主体の事業を実施している。</p> <p>◆生涯学習施設の運営 生涯学習市民センター（9施設）の利用運営を行い、生涯学習事業、活動委員会事業などの事業を実施している。</p> <p>◆枚方市生涯学習推進審議会運営事務 市民や専門家の幅広い意見を聴きながら、生涯学習による市民との協働のまちづくりを進めるために、平成18年4月に枚方市生涯学習推進審議会を設置。現在、審議会は学識経験者、関係市民団体等、計10人の委員で構成している。</p> <p>◆枚方市美術施設運営委員協議会運営事務 年3回協議会を開催し、市民ギャラリー、ふれあいホール、御殿山生涯学習美術センター及び総合文化芸術センターの企画展及び公募展の企画運営等、美術施設運営に関することについて、専門的な立場から意見をいただく。</p>		<p>◆生涯学習事業の推進 新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業はあるものの、感染対策の徹底を図り、自主事業や活動委員会事業を開催し、市民の生涯学習の機会を提供した。</p> <p>◆生涯学習施設の運営 新型コロナウイルス感染症による影響で令和2年4月1日～6月14日、令和2年12月7日～令和3年2月28日の期間、施設の利用を中止した。</p> <p>◆枚方市生涯学習推進審議会運営事務 令和3年1月に委員の改選を行い、同月第1回生涯学習推進審議会を開催し、生涯学習推進基本指針の進捗状況等について確認を行った。</p> <p>◆枚方市美術施設運営委員協議会運営事務 7月、11月、3月に美術施設運営委員協議会を開催し、市内の美術施設の美術事業の報告や運営に関することについて、専門的な立場から意見をいただいた。</p>			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

9-③	図書館資料購入事務	担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	58,000
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
<p>◆入門書から専門書に至る難易度ごとの蔵書バランスを意識した資料及び教養を高める資料や市民のニーズ等を踏まえた、あらゆる分野にわたり正確で新しい情報を提供できる資料を計画的に購入する。</p>		<p>◆蔵書計画に定める収集方針を踏まえ、蔵書バランスを重視した、資料の計画的な収集を実施している。</p> <p>◆図書館の蔵書となる図書を児童書15,158冊、一般書29,212冊、合計44,370冊購入した。</p>			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン			

令和2年度で終了

9-④	香里ヶ丘図書館建替事業	担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	—
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
<p>◆令和2年3月に建物の引き渡しを受けた新香里ヶ丘図書館について、7月の開館に向け、建て替え中に引き上げていた図書館資料等の物品の搬入、新たな図書の購入、備品の整備等を行う。</p>		<p>◆令和2年3月に建物の引き渡しを受けた新香里ヶ丘図書館に、旧図書館時代に使用していた物品等に加え、新たに購入した書架等、物品を搬入し、整備したうえで、令和2年7月22日に再開館し、指定管理者による運営を開始し、本事業は完了した。</p>			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
	市長公約	平成29・30年度・令和2年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成28年度12月補正実行計画			
	関連計画	枚方市立図書館第3次グランドビジョン			

9-⑤	分館・分室巡回業務	担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	16,560
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆各図書館・分室が所蔵している図書館資料を、市民が希望する図書館・分室で貸出・返却が出来るよう中央図書館を起点に各図書館・分室を巡回する図書館資料の運搬を委託により実施している。		◆図書館業務に必要な不可欠な図書館資料の配送のため、適切な巡回業務に努めた。			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

9-⑥	中央図書館運営事業	担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	54,558
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆幅広い分野の図書館資料を所蔵し、各図書館、分室、自動車文庫の貸出を支援するとともに、他の公共図書館との相互貸借、参考業務、児童サービスなどの中心となり各種図書館サービスを行う。		◆開館日数：275日（予約図書を受渡のみ実施日含） 貸出冊数（個人）：417,442冊 予約受付件数（個人）：17,328件 延べ利用者数：113,825人 ◆新型コロナウイルス対策のため、4月9日から休館、5月20日から、予約本のみ受渡しサービスを開始し、6月1日から感染防止対策を実施し、再開館した。			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン			

9-⑦	香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場運営事業	担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	70,610
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆若年・子育て世代を中心とする新たな定住を促し、持続可能な都市を目指すために、香里ヶ丘地区のまちづくりの一環として、老朽化した香里ヶ丘図書館を建替えるとともに、指定管理者制度のもと、隣接する香里ヶ丘中央公園みどりの広場と一体的な管理・運営を行う。		◆令和2年4月から、香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園を一体的に指定管理者（令和元年度選定）によって運営を開始した。 ◆7月22日に香里ヶ丘図書館を再開館した。			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
	市長公約	令和2年度市政運営方針			
	実行計画	—			
	関連計画	香里ヶ丘図書館建替え基本計画			

9-⑧	コンピュータシステム運営事業	担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	36,321
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆図書館コンピュータシステムにより中央図書館、分館、分室をオンラインで結び、蔵書管理、貸出返却業務、インターネットによる蔵書検索サービスや予約サービス等を行う。		◆学校図書館教師用端末及び分館インターネット端末の更新を行った。			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

令和3年度新規

9-⑨	障害者利用促進事業	担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	1,240
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆障害のある利用者等の読書環境を整備し、障害者等の利用促進を図ることを目的として、録音・点字資料の貸出、製作、視覚障害者への対面読書、聴覚障害者向けおはなし会及び手話・字幕付映像資料の制作等を行うとともに音訳協力者等の養成を行う。 ◆令和元年7月に策定された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」(読書バリアフリー法)に基づき、視覚障害者等に対して、読書困難者の読書を支援する拡大読書機、ルーベ等の拡大補助具、点字ディスプレイ、デジタイゼーション等の機器について、個々の状態に応じた活用に留意し、様々な読書媒体の紹介やそれらを利用するための端末機器等の情報入手に関する支援を行う。		◆新型コロナウイルス感染症拡大を受け、非来館・非接触サービスとして、オンラインによる対面読書サービスを開始した。 ◆来館した視覚障害者等への機器の使用提供を行うとともに、デジタイズ図書とデジタイズ再生機の自宅への貸出を行うことにより、利用者への機器の情報提供を行った。			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
	市長公約	—			
	実行計画	令和3年度当初実行計画			
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン			

令和3年度新規

9-⑩	電子図書館運営事業	担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	25,322
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆電子図書館システムの導入により、コロナ禍以後の生活様式に対応した非来館型サービスを提供する。 ◆読み上げ機能を備えた電子図書館システムを導入することにより、視覚障害者や学習障害者等の活字での読書が困難な方へのサービスを行う。 ◆市内全児童・生徒に貸与されたタブレットにより、電子書籍を活用した学校教育の支援を行う。 ◆ICTの進展及びコロナ禍における新しい生活様式にも対応した図書館サービスとして、令和3年7月を目処に電子書籍の貸し出しを開始し、市民が自宅や出先から24時間いつでも電子書籍を活用できるよう、利便性の向上を図ることとした。		◆令和3年度のサービス開始に向け、国からの財源活用により令和3年度の当初予算確保に努めた。			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
	市長公約	令和3年度市政運営方針			
	実行計画	令和3年度当初実行計画			
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン			

令和3年度新規

9-⑪	学校図書館支援事業		担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	11,776
概要			令和3年3月31日時点の進捗状況			
<p>◆学校図書館の充実と市立図書館蔵書の効果的な活用を図ることで、子どもの読書活動を推進し、自ら学び考える力の育成を支援することを目的に、学校教育室（教育指導担当）の事業計画「読書活動推進事業」と連携し、中央図書館から配置した学校司書への人的・技術的支援を行うとともに、市内小中学校の学校図書館における児童・生徒への読書環境の整備及び読書活動の支援や調べ学習などの授業支援などの取組を行う。</p> <p>◆令和3年度からは、全19中学校区に加え、小学校12校に配置（2校兼務）された学校司書と連携し学校図書館機能の向上及び充実を図る。次年度以降に向け、効果検証を行いながら取組を進める。</p>			<p>◆全19中学校区に既に配置している市立図書館業務ノウハウを持つ学校司書が行う市内全小中学校（64校）の学校図書館整備や運営・授業等の支援を行った。</p> <p>◆令和3年度からの小学校12校に配置（2校兼務）に向け、学校教育室と連携し、準備等を行った。</p>			
関連計画	第5次	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				
	総合計画	施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち				
	市長公約	平成28・29・30年度・令和2・3年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	令和3年度当初実行計画				
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン				

9-⑫	読書活動推進事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	学校教育室 (教育指導担当)
-----	-----------------------	-----	-------------------

基本方策10 文化・スポーツなどの生涯を豊かにする体験活動の充実

「人生100年時代」を迎えるにあたり、一人ひとりの市民が多様な個性・能力を開花させ、生涯学び、活躍していくためには、豊かな文化・芸術にふれ、自然との関わりを持つことが大切です。

また、市民のふるさと意識やまちへの愛着を育むには、まちの歴史文化への理解を深めることが必要です。さらに、生涯にわたって健やかな生活を過ごすことを可能にするためには、健康な運動習慣を確立することが必要です。

こうしたことから、子どもの時から様々な体験活動や、自由な空間を提供するとともに、地域等とも連携しながら、生涯にわたって人生を豊かにする多様な学習機会を提供していくことが求められています。

社会教育と学校教育の連携を強化し、子どもたちが文化・芸術や自然の中での活動等、様々な体験ができる機会を確保します^{①②}。

生涯学習市民センターや新たに開設する「総合文化芸術センター」などを活用し、子どもたちをはじめとする市民が文化・芸術についての関心を深め、そこに喜びや楽しみを感じられるような環境整備に努めます^{①③}。

また、文化財等の適切な保存を進める^{④⑤}とともに、特別史跡百済寺跡等の貴重な歴史文化遺産を生かして、子どもたちや市民の郷土の歴史への理解を深める^{⑥⑦}とともに、歴史の薫り豊かなまちづくりや文化観光への活用・発展を進めます。

また、各種スポーツ・レクリエーション活動については、プロスポーツに触れる機会の提供や、スポーツ環境の整備に取り組む^{⑧⑨}とともに、健康の維持増進を図るため、身近なところで誰もが取り組める健康スポーツの推進に取り組みます^⑩。

子どもたちは、自らの意思で「時間」「空間」を選び、「仲間」を作りながら、自由な遊びを通して成長していきます。子どもにとって望ましい「放課後」を実現していくために令和2年3月に策定した「児童の放課後を豊かにする基本計画」を踏まえ、本市の実情に即した児童の総合的な放課後対策の計画的な整備を適切かつ円滑に取り組みます^{⑪⑫}。また、留守家庭児童会室の土曜日開室や三季休業期のみの利用受付を検討します^⑬。

主要事業の概要・実績

10-①	文化財啓発普及事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	文化財課
------	------------------------	-----	------

10-②	野外活動センター利用促進事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	スポーツ振興課
------	-----------------------------	-----	---------

10-③	文化芸術創造拠点形成事業	担当課	文化生涯学習課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	55,795
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ◆枚方市文化芸術振興計画に基づき、事業を実施し、文化芸術振興審議会で進捗を管理する。 ◆市民が優れた文化芸術に触れる機会の充実や主体的に文化芸術活動を行うことのできる環境整備のため、総合文化芸術センターにおいて、指定管理者との共催等により事業を実施。 ◆文化芸術アドバイザーによるオープニング事業の実施や連携協定を締結したプロのオーケストラ団体との事業を展開する。 ◆市民や市民団体に文化芸術活動の発表の場を提供する市民総合文化祭を開催。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆文化芸術振興審議会を令和2年11月に開催した。 ◆新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大部分の事業が中止又は延期となる中で、小学校へのアウトリーチ事業を16校で実施した。 ◆文化芸術アドバイザーの提案事業については、辰巳満次郎氏の能楽講座と市川克明氏が音楽監督を務めるひらかたジュニア吹奏楽団を結成し、練習を実施した。 			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			
	市長公約	—			
	実行計画	令和元年度当初実行計画			
	関連計画	—			

10-④	文化財保護管理事業	担当課	文化財課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	30,766
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ◆茄子作遺跡・藤田山遺跡・蹉跎東プレハブ文化財収蔵庫・伝王仁墓等の文化財用地の草刈り等を行い、保護管理する。 ◆特別史跡百済寺跡の再整備に伴う発掘調査で出土した金属製品等の遺物について、保存科学処理の実施。 ◆特別史跡百済寺跡のバス専用駐車場の管理委託の実施 ◆近年樹勢に衰えがみえつつある、府指定天然記念物枚方田中邸のむくについて、樹木診断を行い、管理計画に基づき必要な管理を行う。 ◆楠葉台場跡は、幕末の砲台場を保護している史跡であり、その維持のため施肥や除草、支障竹木の伐採を行い、保全管理する。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆文化財用地の保護管理は、委託で草刈りを7月と11月に実施。 ◆特別史跡百済寺跡から出土した金属製品保存科学処理を行った。バス専用駐車場の管理は、シルバー人材センターに委託した。 ◆府指定天然記念物枚方田中邸のむくについては、管理計画に基づき、土壌改良・定点観測を行うほか、令和3年2月に足場を組んで枯枝の剪定、ワイヤーの付け替え、幹の割れ目への防雨処理を実施し、草木の芽吹きが増える等、樹勢回復の効果が得られた。 ◆楠葉台場跡では、草刈り等の定期管理の他、住民からの要望に対応する等、日常管理に努めた。 			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	—			

10-⑤	市指定文化財補助事業	担当課	文化財課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	397
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆建造物の所有者に40,000円、建造物を除く有形文化財又は記念物の所有者に20,000円を交付する。これにより、市指定文化財の保存管理を支援する。		◆廃渚院観音寺鐘楼など3件の建造物と、意賀美神社の算額など建造物を除く有形文化財、民俗文化財及び記念物11件の補助金を交付した。(交付額340,000円)			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	—			

10-⑥	特別史跡百済寺跡再整備事業	担当課	文化財課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	136,060
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ◆平成16年度に測量調査実施、平成17年度から平成25年度の9年間で発掘調査を行い、並行して整備準備を行う。また、再整備に向け、平成24年度から平成25年度に基本計画の策定と基本設計を行う。平成26年度に実施設計を行い、平成27年度より再整備工事に着手している。 ◆再整備工事着手後、工事の遅延や築地塀の構造細部、瓦の意匠検討等に時間を要したため、整備計画スケジュールを見直し、事業完了を平成30年度としていたが、令和5年度となる。 ◆本年度は、百済寺跡公園東南角地の整備と公園東側の基盤整備、築地塀の実施計画を行うとともに、百済王氏に関する文化財のある自治体と交流し賑わいの場を創出していく。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆令和2年度は東南角地の擁壁工事と東南院及び東北院の一部の造成等基盤工事を行い、当該箇所排水等各種設備を配置し、遺構及び参道の表層舗装を実施した。 			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

10-⑦	市史編さん年報発行事務	担当課	文化財課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	985
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ◆歴史資料の収集・整理・保存ならびに市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に応えるとともに、枚方市史年報を発行する。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆枚方市史年報第23号を発刊した。 ◆マイクロフィルム紙焼製本を行った。 ◆市史関連歴史資料等の収集・整理・保存を順次実施した。 ◆市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に対応した。 			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	—			

10-⑧	各種スポーツ大会等開催事業	担当課	スポーツ振興課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	1,114
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ◆各種競技大会（総合体育大会等）の運営を公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託し、実施。 ◆市内高校バレーボール大会を実施し、同競技の振興と青少年の健全育成を図る。 ◆ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託して実施。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆新型コロナウイルス感染症の影響により9月末までは、市主催・共催イベントが原則中止であったことから春季総合体育大会等各種競技大会や市内高校バレーボール大会は中止・延期とした。 ◆新型コロナウイルス感染症の影響により、ラグビーカーニバルは当初の6月開催が延期となったが、感染症対策を行ったうえで、令和2年12月6日に開催した。 			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち			
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

10-⑨	スポーツ推進事業	担当課	スポーツ振興課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	228
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆策定されたスポーツ推進計画に基づき、「だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを支える」を基本理念として、関係部署と連携を図りながらスポーツ施策を推進していく。		◆新型コロナウイルス感染症対策のため、指定管理者等と連携して、スポーツ施設の利用再開に向けた課題検討を行い、各施設において利用の際のルールを設定し再開したが、再度の緊急事態宣言発令にともない利用中止となる期間が発生した。 (3月7日～利用中止、7月1日～順次利用再開、12月7日～利用中止、3月1日～順次利用再開) ◆スポーツ推進計画の具体的施策を点検・評価する枚方市スポーツ推進審議会については、開催に向けて委員の改選等の手続きを行った。 (委嘱期間：令和2年6月20日から令和4年6月19日) 審議会については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を延期した。			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち			
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

10-⑩	総合型放課後事業（放課後キッズクラブ）	担当課	教育支援室 (放課後子ども担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	46,141
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆子どもにとって望ましい「放課後」を実現していくために令和2年3月に策定した「児童の放課後を豊かにする基本計画」を踏まえ、本市の実情に即した児童の総合的な放課後対策の計画的な整備を適切かつ円滑に行う。 ◆令和3年度においては、「総合型放課後事業（放課後キッズクラブ）」を土曜日及び、三季休業期の実施で、小学校4校（直営2校、委託2校）に先行導入しており、その検証結果等を踏まえ、全小学校への平日を含む本格導入に向けた検討を行う。		◆令和3年4月からの民間委託先行導入に向けて、9月に総合型放課後事業委託事業者選定審査会（以下、審査会とする）の設置を行い、9月～12月にかけて審査会を開催し、12月に委託予定事業者を決定した委託契約は令和3年2月10日に締結し、令和3年2月～3月にかけて引継ぎ保育を実施した。 ◆10月15日から20日にかけて、先行導入対象校4校の保護者に対し説明会を実施した。また、令和3年1月に予定していた放課後子ども教室の登録説明会は、コロナ禍を受け中止し、これに代えて、全校児童に配布されているiPadによる動画配信とした。			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			
	市長公約	平成29・30年度・令和元・2・3年度市政運営方針			
	実行計画	平成30年度当初実行計画			
	関連計画	—			

10-⑪	留守家庭児童会室運営事業	担当課	教育支援室 (放課後子ども担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	77,516
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆民間活力の活用や適切な施設整備、学校の余裕教室の活用など、留守家庭児童会室事業の再構築に向けた検討を行う。		◆令和2年3月に策定した「児童の放課後を豊かにする基本計画」に基づき、既存事業である「留守家庭児童会室」と新たに取り組む「放課後子ども教室」を核とした全児童対策事業「放課後キッズクラブ」に取り組み、令和3年度より、先行導入として山田小、さだ小、川越小、津田小において、運営を開始した。			
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			
	市長公約	平成29・30年度・令和元・2年度市政運営方針			
	実行計画	平成30年度当初実行計画			
	関連計画	—			

10-⑫	枚方子どもいきいき広場補助事業	担当課	教育支援室 (放課後子ども担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	32,231
概要		令和3年3月31日時点の進捗状況			
◆これからの時代を生きる子どもの「生きる力」を育むことを目的として、市内45小学校区で、土曜日の学校休業日を基本に、地域の特色や多様性を活かしたプログラムを児童健全育成事業として実施する。地域団体やNPO等に対し支援・助成を行う。		◆感染症拡大予防のため、いきいき広場事業の活動を6月まで休止、7月から開始したが、感染状況が拡大したため、8月から休止、10月から活動再開、12月から2月まで休止した。3月からは感染状況を注視し、感染拡大防止対策を十分に講じて、活動を実施した。 ◆いきいき広場事業の活動団体代表者会議を開催し、団体間で講師やプログラム案の情報交換の場を提供した。			
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			
	市長公約	—			
	実行計画	平成30年度当初実行計画			
	関連計画	—			